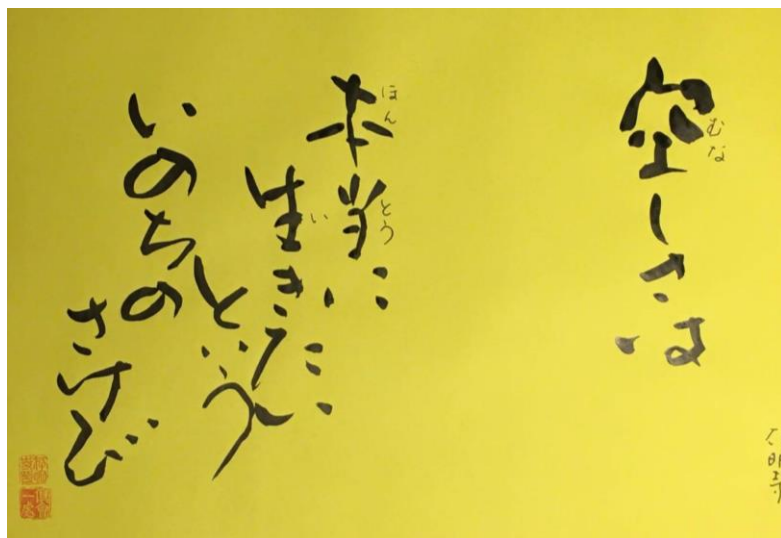


真宗大谷派 存明寺通信

No.202

2021年(仏歴2552年)7月10日発行



存明寺のEメール

「ちちから」↑↑↑



しんらんであ 親鸞と出会うお寺

<https://zonmyoji.jp>

空しきは 本心に生きたいという

いのちのさげび

人間が抱く現実の課題を裏から見ると、  
願いが見えてくる、という。

たとえば、苦しさ。その裏側には、この苦しさを、  
無駄にしない世界を生きたい、という願いが…。

たとえば、悲しさ。それは、その悲しさに、  
ひかりがあたる世界に出会いたい、という願いが…。  
そして、「死にたい」。その思いの裏側には、

「生きたい」という願いが息づいている。

空しさ。それは本当に生きたいという、

いのちのさげび。

今、私は、どのような思いを抱いているのだろう。

その思いを裏から見てみよう。

そこに、いのちの願いが息づいてはいないだろうか。

(住職)

# おひつじのかさじぞう

—どんな「と」からも

学んでいける心—



昔話「かさじぞう」をご存知でしょうか。昔々、あるところに、おじいさんとおばあさんがおりました。おじいさんは、お正月の餅を手に入れるために、笠をこしらえて、大晦日の街に出かけます。しかし、笠はまったく売れません。家に帰る途中、おじいさんは雪をかぶった寒そうなおじぞうさんに出会います。そして、売れ残った笠をさしてあげることにしました。その夜、家の前に米俵や千両箱、宝ものがたくさん積まれています。おじいさんと、おばあさんは、

幸せに暮らしました、とき。だいたいこのようなお話です。

このお話は、「良いことをすると、良いことが起こる」という善因善果という仏教思想がうかがえるお話として有名です。しかし、真宗の教えに生きたある先生は、この物語を「失敗が人を育てていく」ことだと教えてくれました。私にとっては目からうろこが落ちるようなご指摘でした。それではもう一度、別の視点でこのお話を振り返ってみましょう。

おじいさんは、正月用の餅を手に入れるために笠を持って峠を越えますが、この時おじいさんの目にはおじぞうさんの姿が入ってこなかったのです。笠を売ってお金を手に入れようと、理想の世界を夢見ていたおじいさんには、6人のお地藏さんは見えなかったのです。しかし、笠が売れず、思い通りにならないという現実に出会い、困難な状況に陥ってはじめて、おじいさんは、雪に埋もれるおじぞうさんの目にするのです。お地藏さんの寒さが見えてきたのでし

た。

傘がひとつも売れないという失敗をしたおじいさん。自らが苦しい状況に陥ったとき、はじめて他者の寒さや悲しみが見えてきたのです。そして、自分のかぶっていた傘を相手に差し出すというやさしい心が自分の中に芽生えていったのでした。思い通りにならないかたという失敗が、実はおじいさんを育てていったのです。

これが、真宗の先生からお聞きした、もうひとつのかさじぞうのお話です。

浄土真宗の世界には、「柔軟心」（にゆうなんしん）という言葉があります。それは、柔らかな心のこと。たとえどのようなことが起こったとしても、そのことからいろいろなことを学んでいくことができるという心です。

かさじぞうのお話そのものはひとつです。しかし、そのひとつのお話から学ぶべきことは、実はたくさんあるのではないのでしょうか。それは、「良いことをすると、良い

ことが起こる」ということでもありません。しかし、それだけではあてていく」ということでもありません。思い通りにはならなかったという失敗が、おじいさんを育てていったのです。また、「他者の寒さが見えてくる」ということもありま

私たちも、人生においていろいろな出来事に遭遇します。たとえどのような出来事や物語であっても、そのことからいろいろなことを学びとついでいける心を得ること。それは人がこの世を生きていくうえで、とても大切なことではないでしょうか。

（住職・釋諦信）



## お寺の活動はいま



い勤行のあとにお話。4月は藤井俊五さんと住職、5月は小林和子さんと住職、6月は熊崎尚登さんと住職でした。最近はブレイクアウトルームという機能を使ってオンライン座談会も行っています。コロナで聞法会を途絶えさせたりはしない、そんな思いを抱きつつ、もがいています。

### グリーンケアのつどい

グリーンケアのつどいとは、大切な方を亡くした人々のつどいのこと。感染対策を徹底し、人数を10名までと制限しながら行っています。悲しみにひかりがあたる居場所を目指しています。

### ぞんみょうじ子ども食堂

コロナの為に以前のようにお寺で食事をしたり、遊んだりすることはありませんが、心をつなぐ特製キーマカレーやタイカレーなどのテイクアウトをしています。地域の方々のつながりは、コロナで途絶えさせないという思いをもって運営しています。

### 樹心の会

オンラインZOOMと生参加、選べる二通りの参加方法にて実施中。短

### 子育てサロン いちごのへや

未就学児の子どもたちとその保護者の集まりです。こちらもコロナの影響で、時間を短縮し、人数を制限していますが、変わらずに活動をしています。ちよつと不便ですが、交流を続けています。

### ぞんみょうじ子ども会

子ども会には小学1年生から中学一年生までの20名が参加していますが、こちらはコロナの為に現在お休み中です。ですが夏休みには、いくつかのグループに分けて夏の子ども会を計画中。目玉企画は「夏を楽しもう!」。スーパードールすくいや水鉄砲で水遊びをします。この日は、水もしたたるいい住職?になります。



## 得度披露



▼長男の大樹(27)は、この春から京都にあるお坊さんの学校、大谷専修学院に入学し、浄土真宗の学びを始めました。大谷専修学院は、全寮制の学校で、親鸞聖人の教えを学ぶ学校です。現住職(およそ40年ほど前ですが)や娘のあゆみ(昨年のことでした)が卒業した学校でもあります。▼そして去る6月23日、ご本山である京都・東本願寺にて「得度式」を受式し、真宗大谷派の僧侶の仲間入りをしました。法名は、釋諦樹(しやく・たいじゆ)と申します。来年の3月までは、京都にて勉強に専ら身ですが、皆さまにおかれましてはご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

## お寺のひろば 2021年(令和3年)

### お寺のひろば 2021

7月10日(土) 11時 新盆法要 にいぼん

時間短縮・本堂内人数制限のうえ、  
実施いたします。

7月13日(火) 11時〜 お盆法要 ぼん

法要と法話 お話・住職と門徒有志

※時間短縮・人数制限をして実施します。

※当初予定の13時からの法要はありません。

8月28日(土) 午後 青年のつどい

コロナ感染拡大の為、今年も中止いたします。

9月11日(土) 14時 樹心の会 じゆしん

内容：勤行・お話・座談会

9月17日(金) 13時 おそうじの日

**9月23日(木)** 11時と13時 秋のお彼岸法要 ひがん

9月25日(土) 14時 グリーフケアのつどい

人数制限(10名程度)の上、実施します。

10月9日(土) 14時 樹心の会 じゆしん

10月29日(金) 10時 おみがきのつどい ほらみぎ

11月2日(火) 14時 報恩講のゆうべ ほうおんこう

**3日(水) 12時** 報恩講法要 ほうおんこう

11月13日(土) 14時 樹心の会 じゆしん

12月4日(土) 14時 グリーフケアのつどい じゆしん

12月11日(土) 14時 樹心の会 じゆしん

期日未定 真宗本廟奉仕団(京都・東本願寺)

子ども食堂・子育てサロン・子ども会も  
状況を見ながら実施していきます。

★どうぞご予定ください。



### あとがき

▼多くの人が不安を抱え、中止か延期を望んでいる東京オリンピック。政府は強硬開催を貫こうとしています。ここまで来たら今更中止にできない、ということなのでしょう。国家の体面が先か、国民の安全が大事なのか。そのことがこれからも問われ続けます。

▼ぞんみようじこども食堂がテレビ放映されました。『日本のチカラ』(テレビ朝日系)「心をつなぐキーマカレー」お寺のこども食堂」という番組でした。普段のこども食堂の様子がありのままに放送されていたようです。大谷派の友人やお寺のご門徒や近所の方々など、たくさんの方から「観ました」などの反響が寄せられました。今や日常の風景になりつつあるお寺の「こども食堂」。これからもこどもたちの居場所として、場を開き続けていきます。

▼お寺では感染予防を徹底しながら、教えに人生を学ぶ場を開き続けていきます。詳しくは上記の「お寺のひろば2021」をご覧ください。人間の抱く問題は待ったなしです。そのような現実の問題を抱えなが

らお寺へのお越し、又はオンラインZOOMでのご参加を、心よりお待ちしております。

▼お寺の近所に住む農家出身の女性の手ほどきを受け、今年の春から始めた家庭菜園、苗を植えてから2ヶ月、野菜たちはすくすくと育ち、早くも収穫時期を迎えています。(写真上) なす・トマト・キュウリ・ピーマン・しし唐・オクラ・ズッキーニ・枝豆・空心菜・春菊などが育っています。野菜をいただきながら、この夏を乗り切っていきたいものです。

(住職・釋諦信)



東京都世田谷区北鳥山4-15-1  
真宗大谷派 存明寺  
住職 酒井義一(釋諦信)  
〒157-0061 TEL 03-3300-5057  
FAX 03-3300-5880  
E-mail : sakai@zomyo.ji.jp